

ひびき通信

平成 28 年
3 月 版

センター全館の消防設備を点検

在宅サポートセンター生田の消防設備点検がこのほど行われました。当センターは、火災を感じた際、自動的に消防署へ連絡が入る自動火災報知システムを導入しています。点検では、

異常なしを確認しました

一階のデイサービス、二階のグループホームなど全館に設置されている煙感知器、熱感知器の作動と消防署への通報システムの状態をチェック。異常のないことを確認しました。

なるほど納得の視点と技術

介護アドバイザー・下山名月さんの介護技術講座

立ち上がりや座り直し

自立支援のための基本中の基本を学ぶ

介護アドバイザーの下山名月さんによる介護技術講座がこのほど、在宅サポートセンター生田で開催されました。セミナーには、介護職や看護師など二十名の方が参加。高齢者の機能を活かす自立支援のための基本中の基本について学びました。

講師の下山さんは、民間デ
イの草分けとなった麻生区に
—— 始者の一人です。現在は、介



④前にかがむことの効果について確認する参加者 ⑤座り直しの際の身体の使い方を確認する参加者たち

護アドバイザーとして、介護
技術やリスクマネジメントな
どの研修活動を展開していま

す。特に、下山さん自身が小柄な身体にもかかわらず、安全で無理なく、しかも介護される側の意欲や身体機能を引き出す介護指導には定評があります。

今回のセミナーでは、介助は「個別的であり普遍的であ

第三者評価で訪問調査

グループホーム響

実技の前に自立支援のための関わり方や視点について学びました

グループホーム響にこのほど外部評価の訪問調査が行われました。外部評価は平成十四年から定期的に実施されているもので、介護サービス全般について第三

者が評価するものです。また、家族のアンケート調査なども同時に行われ、スタッフの対応なども評価の対象となります。今回の訪問調査では、サービスの内

容、質をはじめ、職員の対応などに対して高評価をいただきました。具体的な評価結果は二カ月後に公表されることになっています。



デイサービスとグループホームに赤鬼登場

一月三日の節分の日、デイサービスとグループホームに赤鬼が登場しました。男性職員が扮する赤鬼の突然の登場にご利用者たちはビックリ。「金棒」の代わりに手づくりのパターを持ち、「うおー」と雄叫びを上げる赤鬼に、ご利用者たちは夢中で豆を投げつけていました。退散する赤鬼に、「今年も福は内、福は内」と笑顔を見せていました。

福よ来い

節分で恒例の豆まき大会

「という下山さんの自立支援のための基本的な視点や考

え方を学んだあと、椅子からの立ち上がりや座り直しといった、普段の介助の中で基本中の基本となる技術を学びました。参加した介護職たちは、介助の際の立ち位置、腰やひざの使い方、腕や手の平の使い方などについて、介護される側、する側を体験しながら確認をしていました。



参加者たちは、下山さんの講義に熱心に耳を傾けました

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

発行日：2016年3月1日
発行所：日本ケア創造株式会社

発行者：岸 忠宏
住所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

デイサービス響 居宅介護支援事業所 響
グループホーム響 宅老所「ほっと生田」